

大阪市立大学 春の人権問題講演会

開催日時 平成23年5月20日(金)

16時20分～17時50分

会場 大阪市立大学 田中記念館大会議場

大阪市住吉区杉本3-3-138

[JR阪和線「杉本町駅」下車、徒歩約5分]

「大阪市立大学に期待する — 『障害者と人権』を担当して—」

講師：堀 智晴 氏

(常磐会学園大学教授・前大阪市立大学大学院生活科学研究科教授)

《講演要旨》

市立大学では全学共通科目として「障害者と人権Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」の講義を担当してきた。この講義は1975年度から始まり、35年継続し、履修した学生は2万人を超える。

2006年に国連総会で採択された「障害者権利条約」のスローガンは、「“Nothing about us without us”（私たち抜きに私たちのことを決めるな）」であった。全国の大学の中で「障害者問題」が正式な講義として開講されたのは市立大学が最初であったが、この講義に当事者が講師として参加されたのも画期的なことであった。当事者の声に直接ふれて学生も真剣に考えることができたようだ。

堀は25年間この講義を担当してきたが、その経験をふりかえり、大阪市立大学への期待を述べてみたい。

《講師プロフィール》

三重県四日市生。いわゆる団塊の世代。専門分野はインクルーシブ教育（障害児保育・教育）、知的障害者福祉、人権教育。市立大学では、「統合教育論」、「知的障害者福祉論」「障害者と人権」などを担当。

保育所、幼稚園、通園施設、小・中学校、養護学校の実践に学びながら、保育者や先生方と共同研究をしてきた。障害児教育から現在の教育のあり方（健常児教育も含めて）全体を問い直す必要を感じている。現在では、日本におけるインクルーシブ教育（「障害のある子もいる教育」）の可能性について研究している。最近では、知的障害のある人の地域生活支援のあり方に関する研究をしている。

著書として、「ちがうからこそ豊かに学びあえる」（明治図書）、「障害のある子どもの保育・教育」（明石書店）、「保育実践研究の方法」（川島書店）、など。

学生、教職員、市民の皆さんの参加をお待ちしています。

※学生の参加者には「参加証」をお渡しします。

主催：大阪市立大学人権問題委員会

大阪市住吉区杉本 3-3-138

電話 06-6605-3504